

平成29年5月15日
東海旅客鉄道株式会社

在来線工務関係災害対応訓練の実施について

当社の在来線では、災害等の異常時における保線、土木、電力、信号通信の各系統間の連携及び実践力の強化を目的に、平成18年度より毎年訓練を実施しております。今年度は、踏切事故を想定した訓練を以下のとおり実施します。

1. 日 時 平成29年6月5日（月）10時00分～17時00分
2. 場 所 千種実習線
3. 参加人員 約150名
4. 主な訓練内容
 - (1) 初動対応訓練
 - ・ 発災直後の初動体制の構築から被害状況調査、復旧計画の策定
 - (2) 設備の復旧訓練
 - ・ 踏切事故により損傷した、まくらぎやトロリ線、踏切警報機等の設備の復旧
 - (3) 現地復旧対策本部における対応訓練
 - ・ 災害時における移動事務所機能を備えた訓練用のバスをジェイアール東海バス(株)から借用し、現地復旧対策本部として活用
 - ・ 衛星通信車や衛星携帯電話による通信手段の確保



昨年の訓練風景
(トロリ線の断線復旧)



訓練用バスの外観



訓練用バスの車内
(移動事務所機能)